

2017(平成 29)年度 西部地区五大学共同開講授業科目「博多学」シラバス

授業科目名	博多学
開講年度	2017
開講学期	前期
対象学部等	全学部
対象学年	1～4
必修選択	選択
単位数	1 単位 (現地見学 + 集中講義)
担当教員	<p>【九州大学】 佐伯弘次 九州大学 人文科学研究院 教授 箕浦永子 九州大学 人間環境学研究院 助教</p> <p>【西南学院大学】 宮崎克則 西南学院大学 国際文化学部 国際文化学科 教授 山根明弘 西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 准教授</p> <p>【中村学園大学】 松隈美紀 中村学園大学短期大学部 食物栄養学科 教授 岩本昌子 中村学園大学栄養科学部 栄養科学科 教授</p> <p>【福岡大学】 渡辺亮一 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授</p> <p>【福岡歯科大学】 永井 淳 福岡歯科大学 地域連携センター 教授</p>
履修条件	履修希望者数によっては、人数制限を行う場合がある。
授業の目的 教育目標	<p>「博多学」を通じて、みなさんが今まさに学んでいる土地が、どのような場であるのかを学んでいきましょう。地域に関する知識（歴史、文化など）や、地域で行われていること（習慣など）を知ることで、地域に対する誇りを再確認することにつなげ、更にその誇りをグローバルに生きる「国際人」の自信として欲しいと願っています。</p> <p>以上のようなことから、みなさんの学習目標は大きく二つを考えています。</p> <p>ひとつは「博多」の魅力を自身の言葉で伝えることができるようになること。もうひとつは、地域を見つめる際にさまざまな視点が存在することを知ることです。</p>
授業概要	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及等の「歴史」、食文化、外来文化等の「文化」の面から考察する。
授業の進め方	<p>現地見学 (4/22、5/13、5/20、5/27 のいずれか 1 日に参加すること)</p> <p>集中講義 (8/17、23 の 2 日間)</p>

【授業計画：現地見学】

<p>4/22(土) 5/13(土) 5/20(土) 5/27(土)</p>	<p>福博の歴史と文化探訪</p> <p style="text-align: right;">永井淳 福岡歯科大学 地域連携センター 教授</p> <p>テーマ</p> <p>現地見学を通して、神社・仏閣・記念館・遺跡などの歴史的・文化的背景を理解する。</p> <p>我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域について考え、知ることを目的とした実地見学です。座学ではなくて、地元に着した歴史・文化を「歩いて、見て、聞いて、触れてもらう」ことを目的にします。この現地見学で学んだことを通じて、現在から将来にわたって自分を取り巻く地域や社会とどのように関わり、貢献できるかについて考えます。</p> <p>下記スケジュールから1回を選び、現地見学（土曜、10～12時頃から約4時間）に参加してください。</p> <p>4月22日 ～中央区・城内、早良区・百道浜～ 鴻臚館、福岡市博物館</p> <p>5月13日 ～東区・箱崎、博多区・博多駅前～ 筥崎宮、東林寺</p> <p>5月20日 ～博多区・上川端、冷泉、早良区・西新～ はかた伝統工芸館、博多町家ふるさと館、西南大博物館、元寇防塁跡</p> <p>5月27日 ～早良区・高取、東区・社領～ 紅葉八幡宮、高取焼窯元、博多の食と文化の博物館「ハクハク」</p>
--	--

【授業計画：集中講義】8月17日(木) 中村学園大学 2号館4階：2405教室

<p>09：15～10：45 (90分)</p>	<p>博多の郷土料理と食文化①</p> <p style="text-align: right;">松隈美紀 中村学園大学 フード・マネジメント学科 教授</p> <p>本授業は、古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。</p> <p><博多の郷土料理と食文化>① (90分)</p> <p>郷土料理を生み出す要素</p> <p>1. 気候・風土 2. 歴史 3. 宗教 4. 教育</p>
<p>11：00～12：30 (90分)</p>	<p>博多の郷土料理と食文化②</p> <p style="text-align: right;">松隈美紀 中村学園大学 フード・マネジメント学科 教授</p> <p>本授業は、古くから東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産や豊かな郷土文化を今に受け継いできた博多（広い意味での福岡市）について学び、その地域周辺で食されている四季の郷土料理を通して、歴史や文化（食文化）、生活、年中行事、国際交流、産業を理解し、地元食材の知識や大切に使う心を養い、地域社会やグローバル社会において、自分の言葉で博多の歴史や食文化について、人に説明することができる事を目的とし、以下の講義を行う。</p>

	<p><博多の郷土料理と食文化>② (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博多の正月料理 ・博多の四季(春・夏・秋・冬)の料理 ・博多の祭り料理 ・博多の朝食とおもてなし料理 ・昔ながらのおやつ ・郷土料理とは
--	--

【授業計画：集中講義】8月17日(木) 中村学園大学 2号館4階：2405教室

13:20~14:50 (90分)	<p>博多(福岡市内)で何故、都市型水害が頻発するのか？その解決方法は？①</p> <p style="text-align: right;">渡辺亮一 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授</p> <p>この1限目の講義では、福岡市内の水事情について考察し、福岡市内で毎年のように発生している都市型水害の発生メカニズムとその抑制方法を水資源の観点から見ていきます。また、新たに考案した雨水利用実験住宅について、どの程度の効果を発揮するかについて詳しく説明します。</p>
15:05~16:35 (90分)	<p>博多湾の水質環境について、「豊かな博多湾の再生を目指して」②</p> <p style="text-align: right;">渡辺亮一 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授</p> <p>この2限目の講義では、博多を流れる川がすべて流れ込む博多湾に関して、現状の問題点とその解決策について解説を行い、豊かな博多湾の再生のために何が必要かをお話しします。</p>

【授業計画：集中講義】8月23日(水) 中村学園大学 2号館4階：2405教室

09:00~10:30 (90分)	<p>中世の博多と東アジア</p> <p style="text-align: right;">佐伯弘次 九州大学 人文科学研究院 教授</p> <p>中世(11世紀~16世紀)の博多は、国際貿易都市として栄えた。とくに11世紀後半の日宋貿易の時代に遺構・遺物が激増するため、この時期に都市化したと考えられている。その後、宋・元・明、高麗・朝鮮、琉球との交易で繁栄した。</p> <p>こうした都市博多と東アジア諸国との関係を、文献史料や考古資料などから、多面的に考えたい。</p>
10:45~12:15 (90分)	<p>1800年ころ 古地図のなかの福岡・博多</p> <p style="text-align: right;">宮崎克則 西南学院大学 国際文化学部 国際文化学科 教授</p> <p>福岡藩家老の三奈木黒田家に伝来した「福岡城下町・博多・近隣古図」は、縦223cm×横226cmの大きさであり、江戸時代後半の福岡・博多の様子を描いています。これには、和歌なども書き込まれ、福岡・博多の歴史や文化に関する豊富な記述があり、侍屋敷には武士の名前、さらに一部には石高や家紋まで書き込まれています。</p>

	博多は中世期より中国や朝鮮との貿易を通して栄え、島井宗室や神屋宗湛など多くの商人を生み出す貿易都市として繁栄していました。福岡は、慶長5年（1600）の関ヶ原戦の後、豊前中津から移ってきた黒田長政によって建設された新都市です。絵図を読み解き、併せて福岡・博多の変遷を考えていきます。
--	---

【授業計画：集中講義】8月23日(水) 中村学園大学 2号館4階：2405教室

13：05～14：35 (90分)	<p>明治初頭の博多における社会的結合と町</p> <p style="text-align: right;">箕浦永子 九州大学 人間環境学研究院 助教</p> <p>博多は、太宰府の外港として成立し、地形の変化を伴いながら都市を形成してきた。この土地の上では、地縁・血縁・職業・宗教・文化など様々な社会的結合が取り結ばれ、近世末までに成熟した都市社会が築かれた。博多において、この社会的結合の基盤を成すのが「町（ちょう）」である。しかし、近世末までの都市社会は明治初頭に再編が試みられる。この実態を講義するとともに、社会的結合と町について考える。</p>
14：50～16：20 (90分)	<p>博多湾周辺の自然（「漂着物学」と「ネコ学」）</p> <p style="text-align: right;">山根明弘 西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 准教授</p> <p>博多湾周辺の海岸には、様々な漂着物が打ち上げられる。それらは、遠く南の島より黒潮によって流れ着いたヤシの実であったり、丸木舟などの異国の人々の生活の道具、アオイガイやウミガメなどの近海の海に棲む生き物たちなど様々である。海岸はいわば、文化的、自然史的な資料が集まった、屋外の博物館のような場所である。前半では漂着物採集の魅力についてお話する。次に、玄界灘に浮かぶ相島は、人と猫が理想的なかたちで共存をする島として、海外からも注目されている。後半では、演者のノラネコの研究も含めた、相島でのネコ学について、お話する。</p>
16：35～18：05 (90分)	<p>グループディスカッション</p> <p style="text-align: right;">岩本昌子 中村学園大学 栄養科学部 栄養科学科 教授</p>
成績評価の方法等	<p>各大学の担当教員が、参加状況及び次の課題により総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「博多」の魅力を自分の言葉で伝えることができるようになるために、現地見学・講義ごとに、振り返りシートをまとめる。 2. グループディスカッションの結果をレポートにまとめる。 3. 現地見学・集中講義・グループディスカッション終了後、学んだ知識を総括し、最終課題（レポート）を作成する。